審査から

(仮称)発達支援センターの完成予想図

一般会計 認定

一般会計決算特別委員会は、9月18日・19日・20日の3日間にわたって開催し、慎重な審査を行いました。委員会では、担当部署ごとに内容説明が行われ、延べ45人の委員が質疑や指摘を行いました。概要は次の通りです。なお、9月27日の本会議では、委員長報告、質疑、会派代表による意見表明が行われた後、採決の結果、平成24年度一般会計決算は認定されました。

■歳入全般

▼財政調整基金を取り崩しているが、市民にしわ寄せをしない予算組みが出来たのではないか。

▼「広報ひの」の広告や市ホームページバナー広告について問う。

▼税収は上がっているが、市民の生活や中小企業の状況は、上向いているのか、市の考えを問う。

▼市民の森ふれあいホールの集会室などについて、平日の稼働率を上げるための取り組みを問う。

▼宮城県女川(おながわ)町の災害廃棄物と小金井市の広域支援ごみの受け入れは計画どおり行われたのか問う。

■議会費／総務費

▼選挙の投票率向上の取り組み、広報の仕方、投票区の現状・問題、課題などについて問う。

▼公契約条例について、対象、実施時期など、市の考えを問う。

▼職員の資質育成・向上の取り組みについて市の見解を問う。

▼「広報ひの」は、全戸配布に切り替えるべきと思うが、市の考えを問う。

▼「男女平等推進センターだより」について問う。

■民生費

▼高齢者等困りごと支援の件数とボランティアの人数について問う。

▼高齢者運転免許自主返納支援事業の内訳について問う。

▼生活保護を受けないための仕組み、脱却するための仕組みについて問う。

▼敬老大会が、休止に至った理由について問う。

▼認証保育所の第三者評価の保護者への情報提供について問う。

▼医療扶助費について、ジェネリック医薬品の積極的な使用を促した後の状況を問う。

▼共働き世帯が増えれば、税収も上がるのだから、保育園を増やすべきではないか。

■衛生費／労働費

▼環境基本計画と、ごみ処理広域化の整合について問う。

▼がん検診の事業目標率の結果について問う。

▼太陽光発電システムと高効率給湯設備設置補助金の応募率について問う。

▼がん検診を有料化したことで、受診率が下がっているのではないか。

▼歯周疾患検診の受診率が上がった成果を問う。

■農業費／商工費／土木費／消防費

▼工業技術みえる化推進事業の内容と効果、今後の展開について問う。

▼道路補修計画のスパンが長過ぎると思うが、市の考えを問う。

▼公園内トイレの清掃の頻度について問う。

▼市内連絡バスの利便性向上策について問う。

▼公園管理において、予備費から充当された修繕の内容について問う。

▼西豊田駅誘致計画が進まない理由について問う。

■教育費／公債費／諸支出金／予備費

▼市民の森ふれあいホールにおいて、市民が気軽に参加出来るような事業の今後の展開を問う。

▼小・中学校の電気料金について、PPS(特定規模電気事業)は全校で導入しているのか問う。

▼学校のトイレが改修されたときの児童・生徒や先生の評価について問う。

▼日光を移動教室の場所にした根拠について市の見解を問う。

▼予備費の使用範囲について基準はあるのか問う。

▼牛乳キャップのリサイクル状況について問う。

▼ひのっ子元気プールの休止理由について問う。

▼スポーツ教育推進校補助金、部活動奨励補助金による、部活の活性化について問う。

▼国内留学体験事業の事業内容について問う。

▼市民の森ふれあいホールの2階が暑かったが、その声は担当部局に届いているのか問う。

■総括質疑

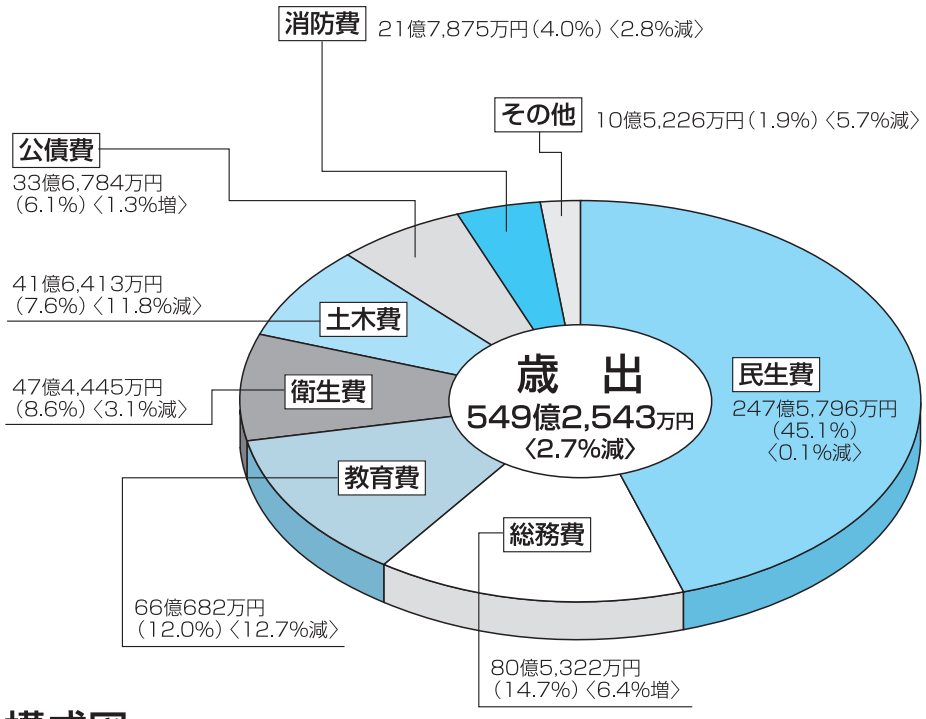
▼高齢者の見守り支援の状況について問う。

▼市民参加による市政の意思決定の考え方について問う。

▼市税における不能欠損になる際の対応と流れについて問う。

▼多摩都市モノレールの株式所有における経過、性質、権利、義務を問う。

▼学校給食における地元野菜の利用についての課題を問う。



構成図

※金額・構成比は、表示単位未満を四捨五入。

特別会計 認定

特別会計決算特別委員会は、9月24日に開催されました。委員会では、特別会計区分ごとに審査が行われ、活発な議論が行われました。概要は次の通りです。なお、9月27日の本会議に

平成24年度 一般会計決算 に対する 各会派の総括意見

民主市民ネットワーク

賛成

厳しい予算編成でしたが、歳入は予測より増え、歳出を圧縮した結果、借金を減らし基金を増やすことが出来ました。しかし、休止している事業もあることから、今後の検証が必要です。また、新規事業を進めにくい中では、新たな発想や展開につながる人材育成が阻まれているようにも感じます。

来年度は大坪市長による初めての予算編成です。前年度決算を基に、市長の言う「選択と集中」で進むべき道を見極め、新年度予算に生かされることを期待して、認定の意見とします。

それぞれの事業について指摘・要望します。

歳入において、市税

厳しい財政難に挑み、借金を減らし、評価

の現年課税分の滞納を抑制する取り組みを評価します。しかし不能欠損額が1億円を超えたことは大きな損失です。徴収体制の強化を図ってください。なお、受益者負担の適正化・定期的な徴収体制見直しを要望します。放置自転車等撤去手数料は見直しが不可欠です。交通弱者対策も含めて対応をお願いします。

歳出においては、増え続ける生活保護費の削減に向けて、北海道釧路市のチャレンジをモデルにきめ細やかな支援をお願いします。歯周疾患検診事業では、受診率の向上が市民の健康長寿に一定の成果を上げました。今後30歳代40歳代の受診増を図ってください。土木費の修繕料に関して、安易な予備費流用は避け、適切な予算執行と計画的な安全管理の徹底を求めます。教育費では、市民の森ふれあいホール活用経費に関して、事業の成果をより高めるために、市が積極的にけん引役となって各種団体等と連携することを求めます。動物訪問ふれあい事業については、来年度も事業を継続することと、運営団体の自立支援を要望します。

自民クラブ

賛成

財政難を乗り切るため、対前年度比17億円削減で組まれた平成24年度予算は、決算において歳出が対前年度比15億円減となりました。第4次行財政改革の取り組みによる歳出削減の努力を認めます。しかし、年々歳入の減少傾向が続いており、安定した財政基盤を築くことが求められます。市は、今以上の覚悟と情熱を持って行政運営に当たることを切望し、この決算を認定する立場で意見を述べます。

決算書の項目に沿って指摘します。

歳入では、震災がれき受け入れによる災害廃棄物受け入れ手数料がありました。当市での具体的な復興支援の取り組みが実施された

創意工夫の歳入確保と行財政改革に成果あり

ことを高く評価します。加えて、小金井市からの広域支援ごみ受け入れもありましたが、ごみ処理関連施設整備基金への繰り入れについて考察すべきと思います。また、日野市企業公社の経営努力による株式配当金追加を評価します。

次に歳出についてです。財政を圧迫している生活保護費に関して、不正受給には厳しく対処して頂きたい。工業技術みえる化推進事業の中で、金融機関と連携して中小企業への具体的支援策が実施されたことを評価します。市民の森ふれあいホールでは、国体のプレ大会が開催されました。アクセス面でのおもてなしルート整備も行われました。来年度の指定管理への移行を視野に、民間のアイデアによる魅力ある活用を期待します。教育費においては、一流のコーチを招請した学習の場を設けること、図書館の所蔵書の充実、学校トイレ改修継続等を進めてください。また、オリンピック招致活動で見えた日本人の活躍から、学校において国際化対応能力を身に付けられることを期待します。